

アイスクャンドル

1 活動の概要

バケツに水を張り、氷のキャンドルを作り、その中にローソクを入れて灯りをともし、その美しさを味わう。

2 ねらいとして考えられるもの

冬の寒い時期でしか作ることのできないアイスクャンドルを作り、鑑賞することで利用団体内での交流を深める。

3 活動時期

1月～2月

4 活動場所

施設周辺

5 活動人数

少人数～60人程度

6 所要時間

1～2時間程度

7 指導依頼について

- (1) 基本的には、引率または団体指導者の方に直接指導していただきます。事前打合せに来所した際に指導手順について、ネイパル職員が引率または指導者の方に指導します。
- (2) どうしても団体で指導できない場合は、ネイパル職員が指導しますが、他の利用団体の活動状況やネイパル職員の勤務の関係上、全ての指導依頼にこたえられない場合があります。
- (3) 指導依頼をした場合でも、全ておまかせの状態にならないよう、参加者の掌握や安全管理について指導補助をお願いします。

8 団体が準備するもの

- バケツ（ネイパルで貸し出し可能）
- 防寒着（スキーウェア上下、帽子、手袋）
- ローソク（ネイパルで購入可能）1本10円

9 ネイパルで貸し出しできるもの

- バケツ
- ローソク立て（50個）

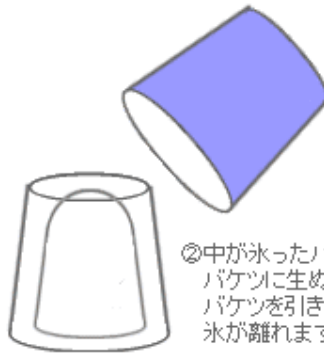
10 活動にかかわって

(1) 実施までの流れ

活動	内容	時間
準備	①道具を準備する。 ②バケツに水を満杯に入れる。 ③一晩、日陰や雪の当たらない場所に置き凍らせる。 ④氷の中心部分が十分に凍っていない時にバケツをひっくり返して、バケツの外側に水またはぬるま湯を掛けバケツを外す。 ⑤凍っていない中心部の水を抜く。 ⑥雪の上や雪山などに置く。	1~2時間程度
後片づけ	①使用した物品をすべて、乾燥室に入れる。	
鑑賞	①アイスクャンドルの穴にローソクを入れる。 ②ローソクに火をつける。 ③鑑賞する。	



①気温零下5度以下の寒い日に、水を入れたポリバケツを一晩か二晩くらい外に出して置くと、バケツの上の方と周りに氷が張ります。



②中が氷ったバケツを逆さにし、バケツに生ぬるい水をかけ、バケツを引き上げるとバケツと氷が離れます。



③バケツの底の方(地面についていた方)の氷は薄いので、ドライバターの先などで穴を開け、中の水を出してください。



④中が空洞の氷の器が出来ました。



⑤キャンドルを入れて点灯してください。

とてもきらびやかな光が輝きます。



完成しました！